

平成30年度

授業改善犬山プラン

－ 少人数学級・少人数授業

を通して自ら学ぶ力を育む －

犬山市小中学校長会

犬山市教育委員会

《表2》……少人数学級による学級増に対応する学級担任

(人)

		平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
少人数学級編制にともなう増加学級数	小計	0	0	3	9	13	15	18	18	16	19	14	18	20	17	17	16	16	13
	中計	0	0	3	5	5	7	7	5	5	7	6	3	2	2	4	2	2	3
学級担任(増加学級)	県費教員				4	2	3	1	2										
	校務主任																		
	定数内教員			3	5	6	6	6	7	6	6	7	7	1	1	6	5	6	5
	学級担任加配				5	4	7	7	5	2	5	1	1	6	6	1	1		
	市費負担教員					6	5	3	2	7	7	6	6	6	4	6	3	4	4
							注1	8	7	6	8	6	7	9	8	8	9	8	7

《表3》……学校経営・学校運営にかかわる人的支援

(人)

		平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
注3 人的支援	非常勤講師				10	6	13												
	学校経営支援				4	3	3	3	3										
	校務支援				14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14

《表4》……少人数学級編制の実施状況

(%)

		平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
小学校	注4 30人程度学級	60	53.8	71.8	88.1	77.6	87.2	90.9	88.4	87.6	90.2	86.6	89.2	89.2	85.3	91.6	95.2	94.6	
	35人を超える学級	22.3	30.8	12.7	0	1.9	5.8	1.8	0	1.8	0	2.5	0	0	0	0	4.8	1.4	
中学校	30人程度学級	7	7.4	15.4	50	63.2	67.2	65.1	56.9	50.7	47.9	37.5	28.6	19.4	24.6	37.1	57.4	21.1	
	35人を超える学級	61.4	57.4	50.0	0	14.0	16.4	6.3	0	18.3	9.9	42.2	50.8	51.6	52.5	38.6	42.6	45.6	

(備考) 小学校1年生の35人学級について、愛知県では平成17年度に県費少人数加配教員を学級担任にあてて対応。翌年からは県費加配教員で対応しての35人学級を実施。平成23年度からは国の学級編制基準が35人による定数内対応となった。また、小学校2年生は平成20年度より、中学校1年生は平成21年より県費加配教員で対応して35人学級を実施し、現在に至る。平成30年度からは、学級規模を34人以下を市費の人員配置基準とした。

3 平成30年度「授業改善犬山プラン」の具体的内容と犬山市の支援

(1) 学習集団と生活集団を同一とする学級規模を34人と考え、少人数学級編制を推進する。学級担任として県費負担教員の活用を図るが、さらに学級担任が必要な場合は、市費負担教員を配置する。子どもたちの発達段階を考慮し、特色ある教育課程が編成できるよう(34人以下)の学級を推進する。

※ 1学級の児童生徒数を34人と定めるが、「34」については弾力的に運用する。

(2) 小学校の算数、中学校の数学・英語の授業で少人数授業を実施する。また、小学校の理科の授業でTT授業を実施する。少人数学級と少人数授業・TT授業などの組み合わせにより、創意あふれる授業づくりをめざし、子ども主体のきめ細かな授業を展開する。なお、少人数授業・TT授業で培われた指導法や教材づくりの成果を生かし、すべての教科、すべての領域において少人数のよさが生きる授業改善に努める。

(3) すべての子どもの学びを保障するという観点から、通常の学級に在籍しながら特別な支援を必要とする子どもたちや学校生活への不適応状態に陥っている子どもたちの支援と学びを保障するために、特別支援教育支援員を配置する。

(4) 学校運営にかかわる人的支援

ア すべての小中学校に校務支援者を配置する。

イ 各学校の要請に応じて授業づくりコーディネーターを派遣する。

ウ 中学校に学校業務支援員を配置する。

(5) 市費負担教員及び非常勤講師、特別支援教育支援員の配置に係る考え方

市費負担教員及び市費非常勤講師、特別支援教育支援員の配置は、原則として次の優先順位で行うこととするが、各学校と市教委が協議の上で決定する。

(6) NET(ネイティブ・イングリッシュ・ティーチャー)の配置に係る考え方

すべてのNETを小学校に配置し、外国語科の移行措置に備える。3.4. 56

- ① 小学校では少人数学級(34人程度)を優先し、学級担任として県費負担教員の活用を図り、さらに、学級担任が必要な場合は市費負担教員を配置する。
- ② 少人数学級が実施できない学級において、少人数授業を行うための市費非常勤講師を配置する。
- ③ 小学校には、理科の授業でTTを行うための非常勤講師を配置する。
- ④ 中学校では、数学や英語の少人数授業を全学年、全学級で実施できるように市費非常勤講師を配置する。
- ⑤ 通常学級に在籍しながら特別な支援を必要とする子どもたちの学びを保障するために、小学校に特別支援教育支援員を配置する。 *中→保健室助手業務(増格)*
- ⑥ 集団生活への不適応状態にある児童生徒を支援するために、保健室の業務をサポートする特別支援教育支援員を中学校に1名ずつ配置する。

平成 30 年度 授業改善犬山プランにかかわる学級編制

平成 29 年 11 月 10 日現在

学校名	学年	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		特別支援(再掲)	児童生徒数	学級数			年度	学級増対応		県費		市費								
		通常学級		特支		通常学級		特支		通常学級		特支				学級担任		少人数・TT		特別支援												
		学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数			学級数	人数	校務主任等		学級加配	市費常勤	校務支援者	正規加配	非常勤加配	非常勤少人数	非常勤理T	特別支援教員	生徒支援				
犬北小	児童数	93	2	70	6	89	2	91	1	96	1	92	1	3	9	1	544	21	1	22	29	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.0	
	国基準	3	31	2	35	3	30	3	31	3	32	3	31	1	2	1																
	少人数			⑤	24																											
犬南小	児童数	75	1	71	3	92	1	67	0	93	2	80	1	3	5	486	17	2	19	29	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.0		
	国基準	3	25	2	36	3	31	2	34	3	31	2	40	1	1																	
	少人数			③	24								⑤	27																		
城東小	児童数	118	4	156	2	126	5	141	3	149	4	139	3	8	12	850	28	4	32	29	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	3.0	
	国基準	4	30	4	39	4	32	4	36	4	38	4	35	2	2																	
	少人数			⑤	32			⑤	29	⑤	30	⑤	28																			
今井小	児童数	4		1		6		4		4	1	6		1		26	4	0	4	29												
	国基準	1	4		1	1	4		4	1	4		6																			
	少人数																															
栗栖小	児童数	2		2		3		2		7		2				18	3	0	3	29												
	国基準	1	2		2	1	3		2	1	7		2																			
	少人数																															
羽黒小	児童数	68	1	65	1	72	2	75	1	92	2	97	1	4	4	1	477	17	3	20	29	1	1		1	1	1	1	1	1	2.0	
	国基準	2	34	2	33	2	36	2	38	3	31	3	33	1	1																	
	少人数	③	23			③	24	③	25																							
楽田小	児童数	78	1	98	1	94	3	91	4	107	2	118	1	7	6	598	20	2	22	29	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2.0	
	国基準	3	26	3	33	3	32	3	31	3	36	3	40	1	1																	
	少人数									④	27	④	30																			
池野小	児童数	18	1	25		25		23		18		23		1		133	7	0	7	29												
	国基準	1	18	1	25	1	25	1	23	1	18	1	23																			
	少人数																															
東小	児童数	52	2	58	1	72	2	53	1	69	1	53	4	6	5	368	14	2	16	29	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.5	
	国基準	2	26	2	29	2	36	2	27	2	35	2	27	1	1																	
	少人数					③	24			③	23																					
犬西小	児童数	91	2	88	2	90	2	123	1	90	5	100	2	11	3	596	22	0	22	29												
	国基準	3	31	3	30	3	30	4	31	3	30	3	34	2	1																	
	少人数																															
通常特		599	14	634	16	669	17	670	11	725	18	710	13	44	44	2	4096				29	0	6	2	8	10	7	5	9	8	15.0	0
児童数合計		613		650		686		681		743		723																				
標準増		23	1	19	3	23	2	21	2	24	3	21	3	11	9	2																
学級数合計		24		22		25		23		27		24					153	14	167	30	0	5	2	7	10	7	5	9	8	15.0	0	
標準増		23	1	19	3	23	2	21	2	24	3	21	3	11	9	2																
学級数合計		24		22		25		23		27		24																				

前年比

通常特	-35	0	-38	-1	-1	7	-50	-7	12	7	19	-7
児童数合計	-35		-39		6		-57		19		-12	
標準増	1	-1	-2	1	0	-1	-1	-1	0	1	1	-1
学級数合計	0		-1		-1		-2		1		0	

94

0	-1	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
---	----	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

犬山中	生徒数	217	6	209	2	229	1
国基準	6	37	6	35	6	39	
少人数	⑦	31					
城東中	生徒数	179	6	166	7	201	2
国基準	5	36	5	34	6	34	
少人数	⑥						
南部中	生徒数	154	1	153	3	183	
国基準	4	39	4	39	5	37	
少人数	⑤	31					
東部中	生徒数	106	2	109	1	89	0
国基準	3	36	3	37	3	30	
少人数	④	28					
通常特	656	15	637	13	702	3	
生徒数合計	671		650		705		
標準増	18	4	18	0	20	0	
学級数合計	22		18		20		

※ ○数字の学年は、県の少人数学級編制による増加学級

↓
県費の学級加配に対応

※ 白抜き○数字の学年は、犬山市が独自にすすめる少人数学級編制による増加学級

① 県費校務主任等に対応
② 市費常勤講師に対応

【住民登録上の数】

犬中	城	前原
南中	東中	

前年比

通常特	20	2	-64	10	27	-9
生徒数合計	22		-54		18	
標準増	0	2	-2	0	2	0
学級数合計	2		-2		2	

小中学校の合計
(下段は前年比)

特別支援学級	人数	123	4	31	2
人数	6122	218	18	236	
学級	-108	1	0	1	
標準増		1	0	1	
増加学級計		1	0	1	
常勤		22	8	16	4
非常勤		30		20	
支援員		④		1	
配置数		0	-1	2	-1
		0	0	0	0

単位：学級

単位：人

中管理科